図工だより

第4号

府中市立
府中第七小学校
図画工作科
令和 3年
5月21日発行
伊藤 志帆

展覧会のテーマは何になる？

今年度の展覧会テーマは、6年生の展覧会実行委員を中心に全校にアンケートを取って決定します。

① 色であふれる不思議な世界
② 七小虹色ひみつきち
③ アートでつくる色と想像の世界

6年生全員がテーマに使いたい言葉を考え、6年生の展覧会実行委員で話し合い、3つのテーマに絞りました。全クラスにアンケートをとり、これから決定します。できる限り子供が「自分たちで行事を作り上げる」という気持ちをもてるようにしたいと思い、今年は子供たちに考えてもらいました。何になるか楽しみです。

一年生 セブンイレブンで展示している作品が、好評です。多くの方が見に来てくださっているようで、店長さんもニコニコされていました。

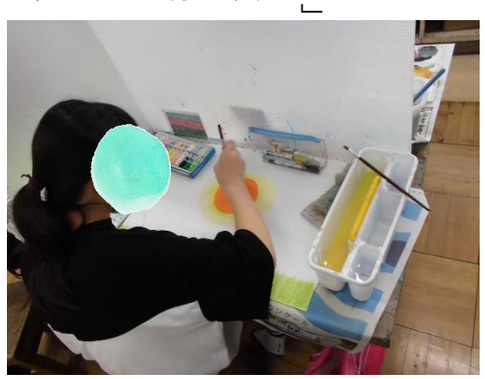
左の写真は、色画用紙を破ってできた形から、思い付いたものを描いている様子です。破った紙を大きな画用紙にのりで貼ります。クレヨンで描き足して完成です。

二年生 「季節を感じて」では、前回見付けた自分の描きたい物を画用紙に描きました。春の暖かな感じなどを意識して、色を混ぜたり、水の量を調節したりして、よく工夫して描くことができました。

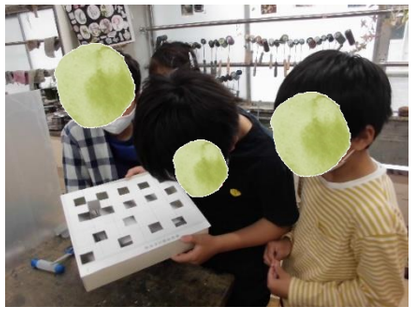
「デコボコ実験室」では、緩衝材や寒冷紗（かんれいしゃ）など、凸凹のある物に絵の具を付けて、どんなもようができるか実験しました。

二種類の材料を重ねると。きれいになることに気付いたり、CDもかっこいいもようができることに気付いたりしていました。これからそれぞれがテーマを決めて版画に表現します。

三年生 「アートの声を聞いて」では、名画から思い付いたことをテーマに絵を描いています。絵の中に描かれた人物の見ている世界や、描かれている風景の外側を想像するなどして描いています。色使いも、前回の学習を生かして、とてもよく工夫しています。右の写真は、夕暮れを描いた作品を見て、自分はもっと明るい時間を描こうと考えて、絵を描いている様子です。太陽の光がとてもきれいに描かれています。



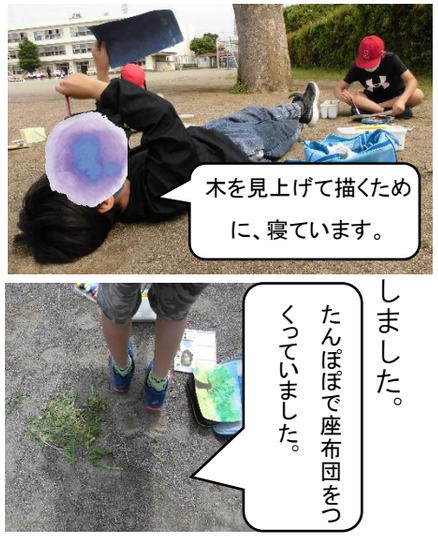
四年生 空き箱や、工作用紙を使ってビー玉転がしをつくりました。工作用紙に切り込みを入れて、のりしろをつくり、自立させる方法でコースをつくります。カーブをさせたり、ペンでイラストや字を書いたりすることで、コースごとに違いをつけるなどしました。左の写真は、上からわざと何個か穴の開いたと大きな画用紙をかぶせることで、中のビー玉が転がる様子を想像しながら遊べるようになっている作品です。よく考えられているなと思いました。



五年生 前回、下地をつくった画用紙を持って外にスケッチに行きました。

校庭で自分の描きたい物を探し、絵の具で描きました。鉛筆で下描きをせずに思い切って描くことができました。下地のよさも生きて、雰囲気のある作品ができました。

二組はあいにくの雨続きで、まだ外に出ることができていません。一足先に七月に取り組む焼き物のイメージ作りをしました。



六年生 「アートの声を聞いて」では、名画から思い付いたことをテーマに絵を描いています。絵の中に描かれた人物の見ている世界や、描かれている風景の外側を想像するなどして描いています。色使いも、前回の学習を生かして、とてもよく工夫しています。右の写真は、夕暮れを描いた作品を見て、自分はもっと明るい時間を描こうと考えて、絵を描いている様子です。太陽の光がとてもきれいに描かれています。